

# 京都女子大学でのRuby教育の 取り組み

京都女子大学 現代社会学部  
丸野由希 道越秀吾

# 自己紹介

丸野由希

- 京都女子大学現代社会学部 講師
  - 2001年に大学でRubyを学び始める
  - プログラミングの授業を担当

道越秀吾

- 京都女子大学現代社会学部 助教
  - 2006年に大学院での研究でRubyを使い始める
  - 今年度よりプログラミングの授業を担当

# 本発表のアウトライン

- Ruby によるプログラミング教育
  - 上回生による授業サポート(SS活動)
- Rubyに関連する諸活動
  - RailsGirls
  - RubyGirls

# Ruby によるプログラミング教育

- 2001年からRubyを授業に取り入れている。
- 1回生後期: プログラミング入門
- 2回生前期: 応用プログラミングⅠ
- 2回生後期: 応用プログラミングⅡ
  - 早ければ2回生終了時にRuby 技術者認定試験に合格
- 3回生前期～ 専門ゼミ



# プログラミング入門

- 各自のノートパソコンを用いて実施
- ツール
  - Cygwin (ターミナル)
  - エディタはEmacs
- 教員1名+TA1名
  - それに加えて、学生スタッフ(SS)のサポート

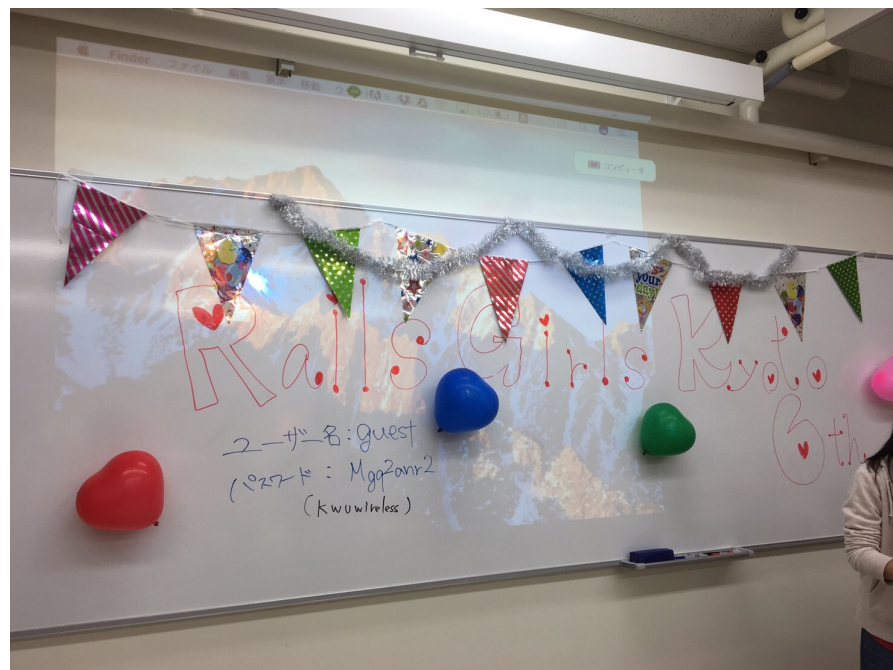
# 上回生による授業サポート

- 学生スタッフ (Student Staff: SS)
  - 情報系ゼミに所属する3・4回生
  - Rubyを学び始めて数年
- 授業の受講生へのメリット
  - 授業中にわからないところを気軽に聞ける
  - 1～2年後の自分の姿がイメージできる
- SSのメリット
  - 下級生に教えることを通しての気づきがある

Rails Girls Kyoto

# Rails Girls Kyoto 8th

- 京都では 8 回目
- 女子大という環境の中でより多くの女性に**Rails**に興味をもってもらいたい！







# Rails Girls のイベントの利点

- 参加者がRuby on Railsをはじめる第一歩に
- 学生や参加者がRubyのコミュニティーに触れられる場に
- 教えることを通して、学ぶ場に
- 参加者も学生もプロも全員が楽しくプログラミングできる場に

# Ruby Girls

~プログラミングを通して新しい世界を知ろう~

# Ruby Girls とは

- 高校生を対象にしたプログラミング体験会
- 京都女子大学の丸野ゼミ(情報系)に所属している3・4回生19人で活動
- 使用言語は「Ruby」
- 参加者は持ち物不要



# 目的ときっかけ

## □ 目的

高校生がプログラミング体験会を通して、  
新たな世界を知り、自らの可能性を広げる

## □ きっかけ

- Rubyが主体のプログラミング体験会を開催したい
- 高校生がプログラミングを知る機会を提供したい

# 実施形態

## □ 本学内

→専攻決めのため1回生を対象に実施

## □ オープンキャンパス

→高校生を対象に実施

## □ 高校

→依頼があった高校で実施



# 本学1回生向け

開催日: 4/26, 6/21  
参加者合計: 30人



わからないところは  
スタッフが親切に  
教えます！



# 高校生対象のOCにて



開催日 : 6/10, 6/11, 8/4, 8/6  
参加者合計 : 66人

たくさんの高校生が  
プログラミングを  
体験しました！





# 活動の共通点

- Ruby に何かをプラスすることによって、Ruby をより深く学ぶことができる

# まとめ

- プログラミングを学んで1年ほどでこれらのプラスアルファの活動ができるのは、Ruby だからではないでしょうか。